

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52108	保育者論 Requirements for Nursery Teacher	古川 洋子	✓	専門	2	必修	2年後期

**科目の概要**

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化し保育者に求められるものはますます多様化している。この授業では、「保育」の持つ意味や幼稚園・保育所・認定こども園における保育者像、保育に関する普遍的ニーズや、今日課題に向き合う資質・専門性について学ぶ。これらの内容は、ディプロマ・ポリシー②③に相当する。  
★幼稚園での保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
① 保育者の仕事と役割について理解する。 ② 保育者の倫理、職務について理解する。 ③ 保育者に求められる多様化する課題に考え、分析することができる。	① 保育者の意義や法的・先達の教える保育者像を説明することができる。DP②③ ② 保育施設における保育者の役割を認識することができる。DP②③ ③ 保育者が求められる課題について理解することができる。DP②③④

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業参加や課題への取り組みに積極的に参加し、課題を取得するのに自己学習がすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	継続的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	根拠に基づいた情報を見極め、課題とし、自分なりの意見を論理的にまとめることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えを的確な文章で表現し、発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を聞き、自分の考えを述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	グループワークでは、自分の役割を認識し責任を持って取り組む。遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：アクティベート保育学02 保育者論 ミネルヴァ書房  
参考図書：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

**他科目との関連、資格との関連**

他教科との関連：「保育原理」「教育原理」「子ども家庭福祉」「心身の発達に関する科目」「保育の計画・内容に関する科目」「家族援助論」  
資格との関連：幼稚園教諭2種免許・保育士資格（准学校心理士）

学修上の助言	受講生とのルール
グループ発表を行うため、役割分担をし、責任をもって取り組む。	・授業中は、私語を慎み意欲的に参加する。 ・積極的なグループワーク、発表準備を行う。 ・配布プリントや資料は整理をし、活用しやすいようにする。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	10	①	✓	
				②		
				③		
		レポート	50	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	
				②		
				③		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>到達レベルS（秀）は課題に対して、積極的に取り組み文献、事例、データなど様々な情報から自分の意見を理論的にまとめ、今後の課題を提示することができる。</p> <p>到達レベルA（優）は課題に対して、情報を収集し自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができる。</p>	<p>到達レベルB（良）は、課題に対して継続的に取り組む。また、レポート、発表時に自分の意見を発信し、表現することができる。総合評価で69～60点をC（可）とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の進め方、受講態度、評価方法などについて理解する。	講義	学習の進め方、受講態度、評価方法などについて理解できる。	(復習) テキストに目を通し、全体の流れを把握する。	180	実行力 規律性
2	「保育者とは」 保育者について考え、グループで意見を交流する。	講義 グループ討議	目指したい保育者についてある程度共有できる。	(予習) テキスト「第1章」を読んでおく。 (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	主体性 実行力 傾聴力
3	「保育者になるためには」 幼稚園教諭の免許、保育士の資格、保育者として服務について学修する。	講義	保育者になるための要件、資格・免許など学修し、理解できる。	(予習) テキスト「第2章」を読んでおく。 (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	主体性 課題発 見力
4	「幼稚園教諭の仕事とその一日」 幼稚園教諭として、どんなことが大事なのかを学修する。	講義	実習で出会った子どもたちのエピソードを文章で表現することができる。	(予習) テキストの「第3章」を読んでおく (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	発信力 傾聴力
5	「保育士の仕事とその一日」 保育士の多様な仕事内容について学修する。	講義 グループ討議	グループ討議に参加し、意見を交換することができる。	(予習) テキストの「第4章」を読んでおく (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	発信力 傾聴力
6	「子どもの内面や発達を理解する保育者」Ⅰ 発達の考え方について、いくつかの観点から学修する。	講義	テキストにあるエピソードを読んで、感じたことを文章で表現することができる。	(予習) テキストの「第5章」を読んでおく (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	主体性 発信力
7	「遊びを援助する保育者」 子どもの遊びをどのように理解するのかを学修する。	講義	テキストにあるエピソードを読んで、遊びを通して子どもがどのようなことを学んでいるのか考えることができる。	(予習) テキストの「第6章」を読んでおく (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	課題発 見力 創造力
8	「個と集団を生かす保育者」 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された個と集団の捉え方について学修する。	講義	保育者による個と集団の捉え方の基本について、ある程度理解することができる。	(予習) テキストの「第7章」を読んでおく (復習) 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を確認する。	180	主体性 課題発 見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「家庭や地域と連携・支援する保育者」 保育者が行う家庭や地域との連携・支援について学修する。	講義 グループ討議	グループ討議に参加し、意見を交換することができる。	(予習) テキストの「第8章」を読んでおく (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	創造力 傾聴力 規律性
10	「多様な子どもの理解と支援する保育者」 子どもたちの様子とその背景にある多様な要因について学修する。	講義	テキストに書かれていることについて、自分の考えをまとめることができる。	(予習) テキストの「第9章」を読んでおく。 (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	発信力 傾聴力
11	「教材などを通して学びを深める保育者①」 教材研究が重要であることを学修する。	講義	子どもが会うさまざまな教材(文化財)を提案できる。	(予習) テキストの「第10章」を読んでおく。 (復習) 子どもの興味、関心に即した教材を調べる。	180	実行力 創造力
12	「教材などを通して学びを深める保育者②」 体験することの重要性を学修する。	講義 体験活動	意欲的に体験活動に参加することができる。	(予習) テキストの「第10章」を読んでおく。 (復習) 体験活動で行った内容を見直し感想をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
13	「成長する保育者と同僚性」 同僚性がなぜ重要なのかについて学修する。	講義	よりよい職場環境を築くために何が必要かについて、考えることができる。	(予習) テキスト「第11章」を読んでおく。 (復習) 授業内で取り組んだWORKを見直す。	180	主体性 働きかけ力 実行力
14	「今、保育者に求められるもの①」 自己の保育者像の構築にあたり、自己の振り返りや学びを整理し 自己構築を行う。	講義 発表	自分の考えをまとめ、発表することができる。	(予習) テキストや配布したプリントなどを読んでおく。 (復習) それぞれの発表から学んだことをまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
15	「今、保育者に求められるもの②」 自己の保育者像の構築にあたり、自己の振り返りや学びを整理し 自己構築を行う。	オンデマンド(レポート課題出題)	自分の考えを文章にまとめることができる。	(予習) テキストや配布したプリントなどを読んでおく。 (復習) それぞれの発表から学んだことをまとめる。	180	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力